



新津第二中学校

コミュニティ・スクール(CS)通信 No.2

令和5年10月31日発行

CS 事務員 藤村 靖子

～地域に開かれた学校から地域とともにある学校へ～

新潟市では、令和2年度にモデル校12校から「コミュニティ・スクール」をスタートさせ、令和4年度からは全小中学校で実施されています。新津第二中学校では、令和4年度からコミュニティ・スクール学校運営協議会が行われ、今年度2年目です。

10月10日(火)に第2回コミュニティ・スクール学校運営協議会が行われました。

～今回の会議では～

まず、学校運営協議会委員のみなさんに5限の授業を参観いただいた後に会議を行いました。

1. 前期学校自己評価について
 - (1)前期の取組等について
 - (2)前期学校自己評価について
2. 後期・次年度の学校基本方針への要望・教職員の任用について
3. その他、課題について

目指す生徒の姿

- ◇たくましく自立する生徒
- ◇互いに協力し、高め合う生徒
- ◇志高く、自己実現を図る生徒

～委員の方からのご意見～

<授業の様子について>

- 生徒たちを引き付けて授業しているのを感じた。
- 合唱の練習も見る事が出来たが、本番までまだ日数があるのに、かなり出来上がっていて驚いた。合唱祭がとても楽しみになった。

<議事について>

- (アンケートの「自分の考えを伝えているか」の結果について)同じ問いで、小学校の結果は高い割合だが、中学校になると下がっている。人前で発言することだけが伝える手段ではないとも思うが、各個人に合わせて生徒の発言を引き出すのが課題だと思う。
- 二中はとても良くなっている。先生方が一生懸命やっているのがわかる。
- 二中の生徒たちは、パワーがあるので、期待したい。
- 先生方が、生徒たちと関わりたい・生徒たちの可能性を引き出したいと思っているのが伝わる。校長先生のリーダーシップのもと長期的に頑張ってもらいたい。
- 上の学年のいい姿を、下の学年が見て学べるチャンスが増えるといい。みんなが輝く学校になってほしい。



～荻川地区未来ビジョンづくり座談会～

秋葉区では、地域別に住民自ら5年先10年先の未来像(未来ビジョン)を作成しています。全11コミュニティ協議会で行われています。

荻川地区でも、子どもからお年寄りまでいろんな人がいくつになっても、安心して楽しく暮らせるまちにするために、具体的にどんなまちにしていきたいか、そのために今から何をしたらいいか、荻川地区住民を中心にぎっくばらんに話し合う座談会が12月までに3回予定されています。

第1回目が10月15日(日)に荻川コミュニティセンターで行われ、荻小・結小・二中のPTAや学校運営協議会の委員も多く参加していました。二中からも生徒3名と校長先生が参加し、積極的に話し合い、堂々と発言していました。

第1回の座談会では、未来ビジョンについて、若い世代、お年寄り世代関係なく、荻川地区を住みやすくするための意見が出ていました。

<日程と内容>

第1回 令和5年10月15日(日) 9:00～12:00

テーマ「荻川地区の未来の姿を描こう」

～参加者それぞれが思う「荻川はこんな地域になったらいいな！」を出し合いみんなの思いをまとめる

第2回 令和5年11月19日(日) 14:00～17:00

テーマ「望む未来から今を見つめ直してみよう」

～みんなで描いた未来の姿につながる荻川地区の資源や、今のうちに解決しておきたいことを探る

第3回 令和5年12月10日(日) 9:00～12:00

テーマ「未来に向けたアクションを考えよう」

～みんなで描いた未来の姿を実現するために、どんなことを行っていったらよいか」話し合う



次回、第3回学校運営協議会は、中学校区合同会で、12月12日(火)の予定です。



お問い合わせ
TEL 0250-22-0741
新津第二中学校 教頭 澤田 栄三郎

